

- 問1 日本列島の中央部を南北に縦断するように位置し、列島を地質学的に東日本と西日本に大きく分ける境界となっている、巨大な溝状の地形を何というか、正しい名称を選びなさい。（2018年 静岡県公立入試 類似）
1. 環太平洋造山帯                      2. 日本アルプス                      3. 中央構造線                      4. フォッサマグナ
- 問2 日本の気候区分において、冬の降水量（降雪量）が他の時期に比べて多くなる地域があります。この気候の特色をもたらす要因について述べた文として、最も適切なものを選択してください。（2024年 秋田県公立入試 類似）
1. 夏に小笠原気団から吹き出す高温多湿な季節風が、日本海側の山地で上昇気流を発生させるため。                      2. 一年を通じて吹く偏西風が、大陸からの乾燥した冷たい空気を運び、山脈を越える際に雪を降らせるため。                      3. 冬にシベリア大陸から吹く北西の季節風が、日本海を渡る際に水分を蓄え、山脈にぶつかって上昇するため。                      4. 冬に太平洋から吹く南東の季節風が、湿った空気を運び、沿岸部の平野に大量の雨を降らせるため。
- 問3 長野県松本市などの気候統計では、冬の月平均気温が氷点下近くまで下がり、夏の月平均気温は25度を超えますが、月間降水量は年間を通して150mm以下と少なく推移します。このように降水量が少なくなる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 佐賀県公立入試 類似）
1. 夏に南東からの季節風が直接吹き込み、上昇気流が発生しにくい地形だから                      2. 冬に北西からの季節風が山脈を越えて、大量の雪を降らせることで乾燥するから                      3. 湿った季節風が周囲の山地を越える際に雨や雪を降らせ、乾燥した空気が流れ込むため                      4. 一年を通じて安定した高気圧に覆われ、上昇気流が全く発生しないから
- 問4 自然災害による被害を最小限に抑えるため、多くの自治体では、災害が発生した際に予測される被害の範囲や、避難場所、避難経路などの情報を地図上にまとめて公表しています。このような防災用の地図を何と呼びますか。（2016年 神奈川県公立入試 類似）
1. 観光ガイドマップ                      2. 都市計画図                      3. バリアフリーマップ                      4. ハザードマップ
- 問5 日本の地形において「カルデラ」と説明される地形が形成される仕組みとして、最も適切なものはどれですか。（2021年 新潟県公立入試 類似）
1. 河川が山地から平地に出る谷口において、土砂が扇形に堆積して形成された。                      2. 火山灰が長年にわたって厚く降り積もり、水はけの良い台地として形成された。                      3. 河川が運んできた土砂が河口付近に堆積し、低くて平らな土地が形成された。                      4. 火山の爆発や噴火によって、山体の一部が陥没したり崩壊したりして形成された。
- 問6 九州地方の熊本県に位置し、世界でも最大級の規模を誇るカルデラを持つ山として適切なものはどれか。（2016年 山口県公立入試 類似）
1. 阿蘇山                      2. 桜島                      3. 雲仙岳                      4. 霧島山
- 問7 日本の地形別の人口分布を詳しく見ると、台地（面積比11%）には人口の約30%が、低地（面積比14%）には人口の約50%が居住しています。このように、特に低地において人口密度が極めて高くなっている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 徳島県公立入試 類似）
1. 低地は山地に比べて地盤が強くあり、大規模な高層ビルを建設しやすいため。                      2. 低地は山地に比べて標高が高く、夏場でも涼しく過ごしやすい気候であるため。                      3. 低地は土砂災害の危険性が全くないため、古くから住宅地として最も安全視されてきたため。                      4. 低地は大都市が位置し、交通網や商業施設、工業地帯が集中して利便性が高いため。
- 問8 1951年から2017年までの台風上陸数において、上位10県には鹿児島県、高知県、和歌山県をはじめ、九州、四国、近畿地方の県が並んでいます。これらの地域で台風の上陸数が多い理由として最も適切な説明はどれですか。（2018年 岡山県公立入試 類似）
1. 中部地方にある日本アルプスが障壁となり、台風がそれ以上の北上を妨げられて南西部に集中するため。                      2. 日本海を北上する対馬海流の影響で気圧が下がり、台風を日本列島の西側から引き寄せる性質があるため。                      3. 低緯度の海域で発生した台風が、太平洋高気圧の縁や偏西風の影響を受けて北上・東進する際の進路に当たりやすいため。                      4. シベリア高気圧から吹き出す冷たい風が、南から来る台風を九州や四国付近で停滞させるため。
- 問9 過去の災害を伝える資料において、有明海の沿岸部に「自然災害伝承碑」が集中して分布している場合、その背景として推察される状況について述べたものとして最も適切なものはどれですか。（2024年 愛知県公立入試 類似）
1. 地震や山体崩壊などによって発生した津波が、沿岸部を襲い甚大な被害をもたらした。                      2. 冬の厳しい冷え込みにより、沿岸部の海面が凍結して漁業に大きな影響が出た。                      3. 大規模な台風の通過により、河川の堤防が決壊して流域の広範囲が浸水した。                      4. 火山の噴火によって放出された火山灰が積もり、沿岸部の農作物に深刻な被害を与えた。
- 問10 川が急な傾斜の山地から平地へと流れ出る場所に、上流から運ばれてきた砂や礫（れき）が堆積してできた、扇の形をした地形を何と呼ぶか、最も適切なものを選びなさい。（2020年 茨城県公立入試 類似）
1. 三角州                      2. 砂丘                      3. 扇状地                      4. 台地
- 問11 集中豪雨などが原因で山崩れが発生し、泥・砂・巨石が水と混じり合って、猛烈な勢いで谷や川を流れ下る自然災害を何といいますか。その名称として適切なものを選びなさい。（2023年 香川県公立入試 類似）
1. 火砕流                      2. 土石流                      3. 高潮                      4. 液状化
- 問12 日本の太平洋側に位置する三陸沖の海域では、北から流れてくる寒流と、南から流れてくる暖流がぶつかり合っています。この海域において、北から南下してくる寒流の名称と、その別名の組み合わせとして正しいものを次の中から選びなさい。（2025年 神奈川県公立入試 類似）
1. 親潮（千島海流）                      2. 黒潮（日本海流）                      3. 対馬海流                      4. リマン海流
- 問13 日本の東方沖、特に千葉県房総半島付近から東北地方の沖合にかけては、南から北上する暖流の黒潮（日本海流）と、北から南下する寒流の親潮（千島海流）がぶつかり合う境界が存在します。この場所が世界的な好漁場となっている理由として最も適切な説明はどれですか。（2024年 千葉県公立入試 類似）
1. 寒流が運んできた氷山が溶けることで海水の塩分濃度が下がり、大規模な養殖事業に適した環境が整っているため                      2. 暖流の勢いが寒流を大きく上回ること、一年を通じて海水温が一定に保たれ、熱帯性の魚が定着しやすいため                      3. 水深が非常に深い海溝が形成されており、深海から湧き上がる冷たい海水がサンゴ礁の成長を促しているため                      4. 暖流と寒流が混ざり合うことで魚の餌となるプランクトンが豊富に発生し、双方の海流に乗った多様な魚が集まるため